

平成29年度 茨城大学教員免許状更新講習シラバス

【必修】教育の最新事情

クラスCD	イ-101・イ-201 イ-301・イ-401	開講日	6月24日(土)・8月5日(土) 8月18日(金)・10月9日(月)
対象職種	教諭・養護教諭・栄養教諭		

講習科目名	教職についての省察	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	小川 哲哉(おがわ てつや)	所属	教育学部
主な受講対象者	全教員	担当時間	1.5
講習内容	教師の資質・能力は、単に技術的な側面にとどまるものではない。教育技術を支える見方を磨き、価値観を高めることで、より豊かになるものである。このような観点から以下の内容を通じて「教職」への理解を深める。1)教育についての哲学的省察を通じて、自らの教育観、子ども観を振り返る(「教育」とは何か。「子ども」とは何か。)2)教育に関するメディア資料を手がかりに、学校の自律性、教職の専門性について概説する。3)教師の歴史的省察を通じて、教師の社会的な役割と期待について概説する。(「理想の教師」とは何か。)		
到達目標	1)自らの教育観、子ども観について理解を深める。2)学校の自律性、教職の専門性についての理解を深める。3)教師の社会的な役割と期待についての理解を深める。		
受講者への事前連絡事項	テキストを用いて講義を行う。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

講習科目名	教育政策の動向についての理解	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	生越 達(おごせ とおる)	所属	大学院教育学研究科
主な受講対象者	全教員	担当時間	1.5
講習内容	教育基本法の改正及び関連三法の改正が行われるとともに、学習指導要領が改訂されるなど、教育に関する改革が進められてきた。こうした近年の教育改革の動向について、学校を巡る社会の変化なども踏まえながら講義を行う。また日本の教育のこれからの方向性を考えるために、世界の教育の動向について紹介する。 1) 教育改革の流れの背景にある今日の社会状況や世界の教育の動向を理解する。 2) 教育基本法改正、関連三法案、及び国の審議会の状況等を踏まえて、近年の教育改革の動向を理解する。 3) 近年の調査や研究等に基づき、今日の子どもの学力や学習に関する課題を理解する。 4) 1)～3)の点を踏まえながら、学習指導要領改訂の基本的な考え方を把握するとともに、新しい学習指導要領のポイントについて理解する。		
到達目標	1) 今日の世界の社会状況等を踏まえながら、近年の教育改革の動向を把握することができる。 2) 今日の子どもの学習状況やその課題を把握することができる。 3) 学習指導要領改訂の基本的な考え方や要点を理解することができる。 4) 世界の教育の動向について理解することができる。		
受講者への事前連絡事項	資料集を用いて講義を行う。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【必修】教育の最新事情

クラスCD	イ-101・イ-201 イ-301・イ-401	開講日	6月24日(土)・8月5日(土) 8月18日(金)・10月9日(月)
対象職種	教諭・養護教諭・栄養教諭		

講習科目名	現代の子どもの発達と気になる子	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	村野井 均 (むらのい ひとし)	所 属	教育学部
主な受講対象者	全教員	担当時間	1.5
講習内容	子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見を紹介する。メディアの世界では、子どもが変わったように述べられるが、果たしてどこが変わったのか、どこが変わっていないのか研究を紹介する。また、アクティブラーニングや仲間作りなど学校を取り巻く学習理論の紹介を行う。		
到達目標	1)子どもの変化の易・不易について理解を深める。2)自分が受け持つ子どもたちの将来を展望した教育ができるようにする。3)大人の学習と学校における子どもの学習を区別できるようにする。		
受講者への 事前連絡事項	テキストを用いて講義を行う。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

講習科目名	子どもの生活の変化を踏まえた課題	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	打越 正貴 (うちこし まさき)	所 属	大学院教育学研究科
主な受講対象者	全教員	担当時間	1.5
講習内容	子どもの生活の変化を踏まえた課題の中で、特に多様化に応じた学級づくりと学級担任の役割についての理解を深める。また、その中で、個々の子どもたちと接していくためには、カウンセリングマインドが有効であり、その必要性を理解し具体的な指導方法について知る。 1) 子どもの変化についての理解 2) 学級担任と学級づくり 3) カウンセリングマインドの必要性 4) 事例検討 5) 学級の中の人間関係		
到達目標	1) 子どもの生活の変化を踏まえた課題について把握することができる。 2) 多様化に応じた学級づくりと学級担任の役割について理解を深めることができる。 3) カウンセリングマインドの必要性を理解することができる。		
受講者への 事前連絡事項	資料集及び資料を用いて講義を行う。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。